

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補者と契約締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業 務 名	地域コミュニケーション DX 担い手育成業務委託		
契 約 期 間	契約締結日～令和9年3月 25 日	担当課	情報戦略課
契 約 の 相 手 方	株式会社 エヌ・エス・シー	契 約 締結日	令和8年8月 24 日
契 約 価 格	6, 538, 400 円		

2 提案等の審査結果

審 査 日	提案書審査	令和8年7月23日	ヒアリング審査	令和8年7月23日
選考委員名	(順不同・敬称略) ・宮森 浩 (天神町町内会 区長) ・高橋 延昌 (会津大学短期大学部 教授) ・藤井 靖史 (総務省地域情報化アドバイザー) ・青山 一也 (会津若松市市民部 副部長) ・本島 靖 (会津若松市企画政策部 副部長)			
審 査 方 法	選考委員 5 名全員が出席し、提案書について、提案者 2 名からのプレゼンテーション(提案説明)及びヒアリング(質疑応答)により提案内容を確認した後、審査基準に基づいて各委員が個別に採点を行った。			
選 評	受託候補者:株式会社 エヌ・エス・シー(提案者番号1) ・デジタルサポーターの育成について段階的な認定制度などやる気を引き出す(インセンティブの)具体的な育成手法や、詳細なスケジュールが高く評価できる。 ・会津地域での事業実績やネットワークを有しており、実現性の高い提案である。 ・自走化や広域展開については、提案者1の自社業務とは異なる新たな事業領域であるため、実現性は一部未知数であるが、社内の蓄積ノウハウをオープンに公開し、広く活用を促す取り組みへと踏み込むことが期待される。 ・リビングラボに不可欠な「ユーザーの積極的な関与」の視点が不足しており、実施時のフォローアップが求められる。			

3 選考結果

参加者名	評価点									
	1：業務目的・基本方針の理解度	2：実施体制・スケジュール	3：企業の実績	4：地域デジタルサポーターの育成手法	5：地域デジタルサポーターコミュニティ形成とデジタルサポート体制の構築	6：市が実施する事業でのスマートフォンなどの操作に関するサポート	7：広域展開・他自治体との連携及び自走化の提案力	8：事業全体についての分析報告書	9：金額に関する評価	最高点採点者数 又は合計点
提案者 1	22/25	47/50	22/25	69/75	103/125	38/50	40/50	60/75	25/25	(5人中5人) 426/500
提案者 2	16/25	25/50	16/25	45/75	77/125	32/50	28/50	45/75	25/25	(5人中0人) 309/500

※各参加者は受付順に記載しています。評価点は、審査項目ごとの審査委員の合計点です。